



陸・海・空の共同作戦で気象観測

気象庁気象研究所は、3月11日、陸、海、空から富士地区の気象観測を行ないました。観測は、当初アメリカの地球資源衛星アーツによる同時観測を予定していましたが、雨で1日延び、アーツの軌道が西にそれたため実現しませんでした。しかし、地上で吉原小など4カ所、海上で20カ所、航空機からも観測を行ないました。なお、測定結果や写真は、気象技術の開発、富士地区の大気汚染解明のための資料となります。

■保安林の黒松を手入れ

元吉原海岸と田子浦海岸一带の保安林45ヘクタールで、黒松の保護育成をはかるため、さきごろ地区の人たちの協力で肥料と補植を行ないました。海岸一带には、3年生の小さなものから、100年以上もたっている大木まで、約31万5000本の黒松が植えてあります。



■第2回富士公民館まつり



■危険物の貯蔵は正しく

春の火災予防運動期間中に（2月28日から3月13日まで）、火災の恐しさを市民に知ってもらい、火災予防をはかるため、婦人防火教室、一般住宅の調査、石油類の不法貯蔵立入検査などを実施しました。

（写真は石油類の不法貯蔵の立入検査を行なう消防本部職員）